



ATTEND SIGNAGE GUIDELINES

アテンドサイネージガイドライン



一般社団法人 デジタルサイネージコンソーシアム
ユーザーエクスペリエンス部会
<http://www.digital-signage.jp>
2017年1月10日 初版

アテンドサイネージガイドライン ©2016 Digital Signage Consortium

アテンドサイネージ ガイドライン Vol.1.0

ユーザーエクスペリエンス部会

アテンドサインージガイドラインとは

企画・
要件決めを
する方々

どうやったら使ってもらえるの？

ロケーション
オーナー・
機材選定者

どこに設置すればいいの？
何に気をつければいいの？

UIデザイナー
筐体設計者

使いやすいアテンドサインージって？

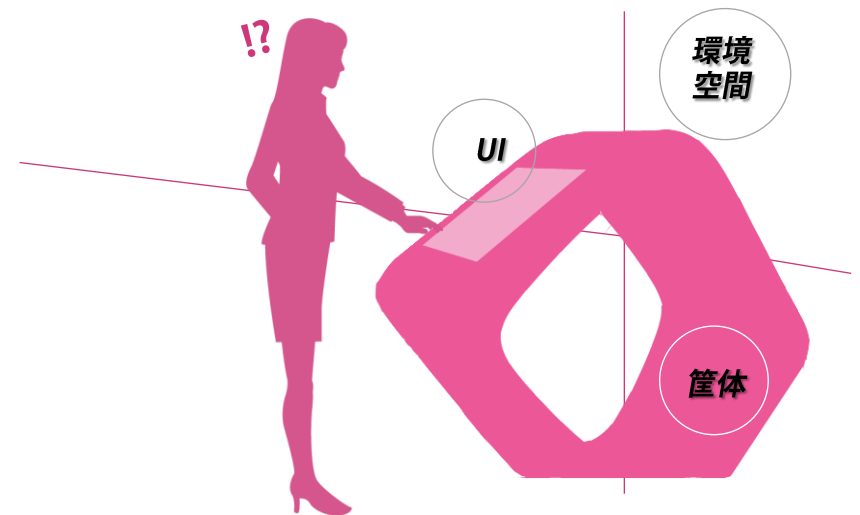


こんな疑問を解決する手助けのために

アテンドサインージ導入・設置の要点をまとめました。

主要内容

1. 本ガイドラインの対象
2. 環境空間
3. 筐体・ハードウェア
4. UI (ユーザーインターフェース)
5. スマートフォン連携
6. 災害時対応
7. 事例紹介



主要内容

1. 本ガイドラインの対象

2. 環境空間

3. 筐体・ハードウェア

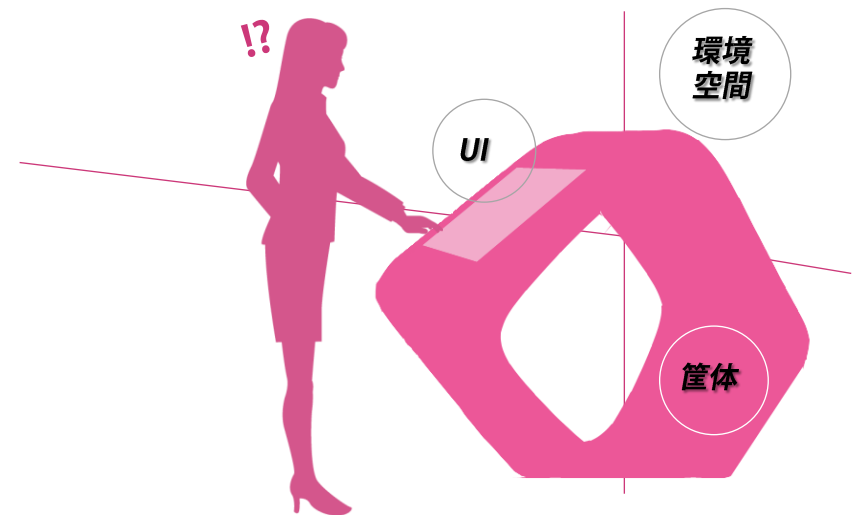
4. UI (ユーザーインターフェース)

5. スマートフォン連携

6. 災害時対応

7. 事例紹介

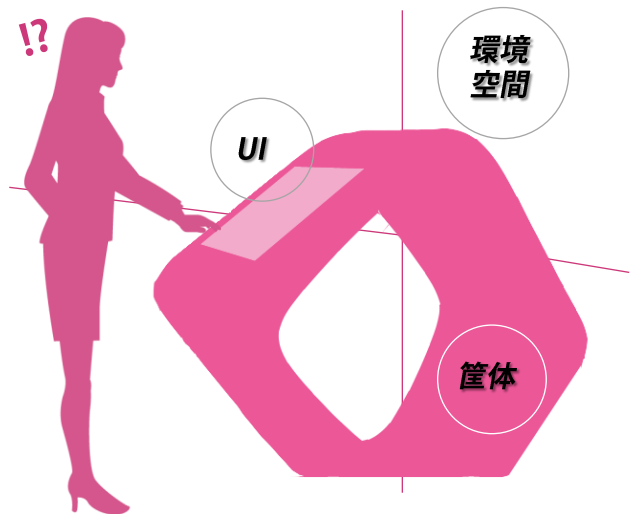
アテンドサイネージにおける
UXの分類



主な内容

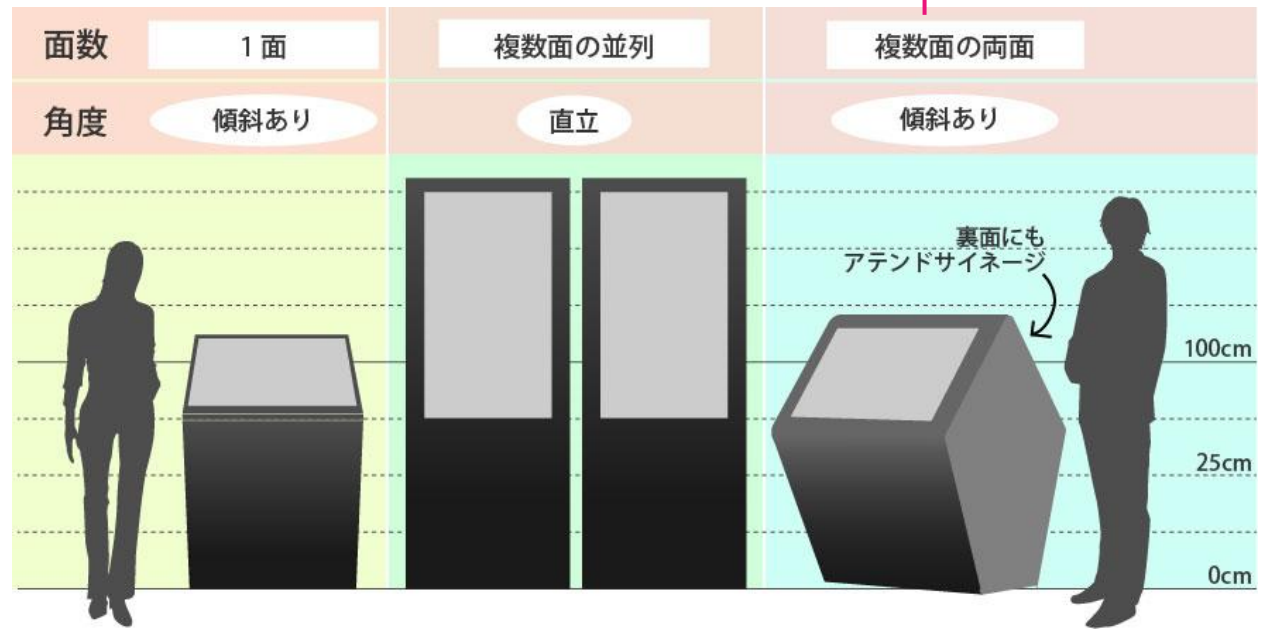
1. 本ガイドラインの対象
2. 環境空間
3. 筐体・ハードウェア
4. UI (ユーザーインターフェース)
5. スマートフォン連携
6. 災害時対応
7. 事例紹介

近年需要が増加してきた
項目について



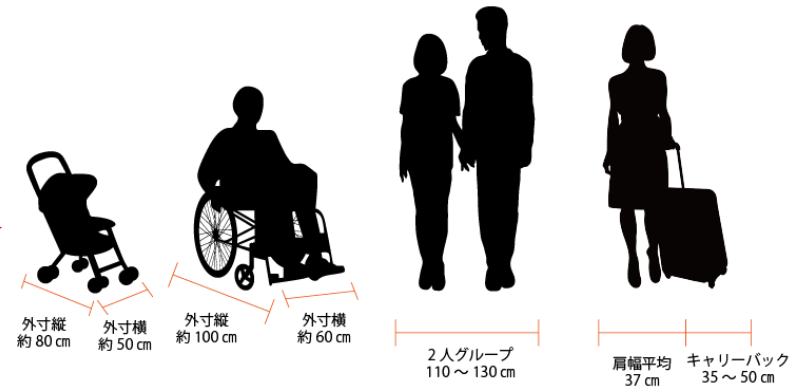
本ガイドラインの対象

- 2.1 デジタルサイネージ全体像
- 2.2 アテンドサイネージとは
- 2.3 主な形状の分類
- 2.4 本ガイドラインの対象範囲について
- 2.5 アテンドサイネージのガイドラインの必要性
- 2.6 本ガイドラインにおけるUXの分類



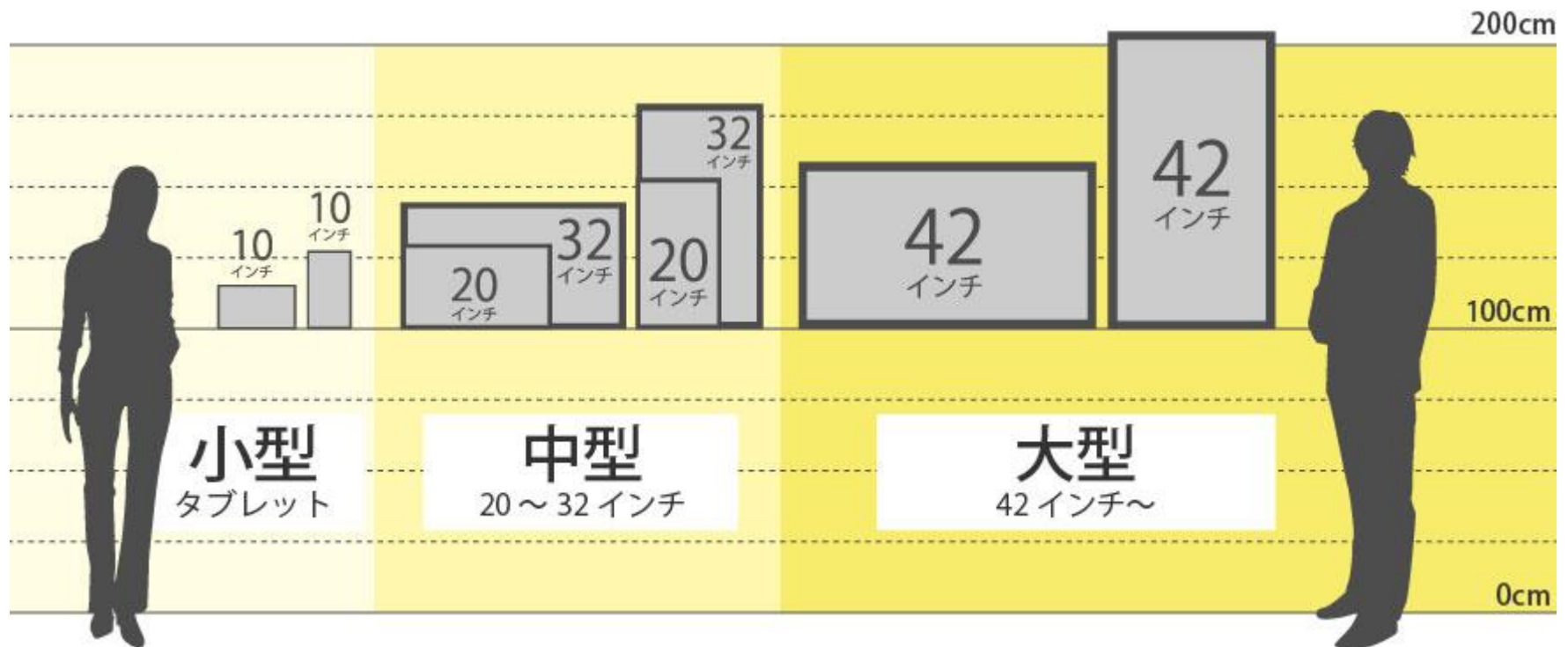
環境空間

- 3.1 設置場所
- 3.2 向き
- 3.3 設置場所周辺の空間の余裕
- 3.4 アテンドサイネージへの誘導
- 3.5 他の案内との組み合わせ
- 3.6 案内所での設置
- 3.7 複数台並べることのメリットと注意点
- 3.8 設置場所周辺の明るさ
- 3.9 周辺環境との調和
- 3.10 屋外設置の場合のその他の注意点



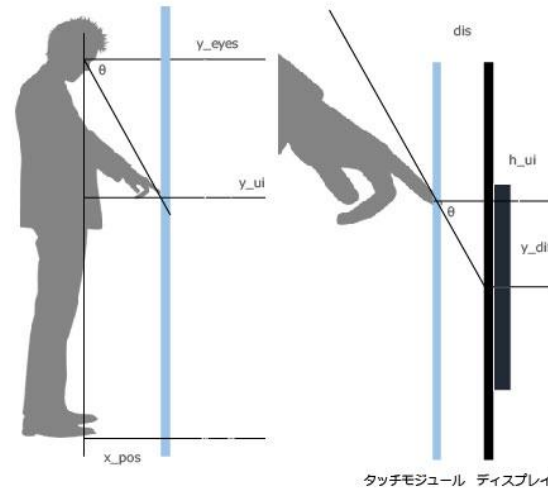
筐体・ハードウェア

- 4.1 外観 (画面サイズ, 傾斜, バリアフリーなど)
- 4.2 デバイス要件 (画面輝度, 電源, 通信など)
- 4.3 筐体に関するその他の要素 (安全性, 複数画面設置など)



UI (ユーザーインターフェース)

- 5.1 レイアウト
- 5.2 ボタン
- 5.3 アイコン
- 5.4 入力
- 5.5 タイポグラフィ
- 5.6 色
- 5.7 フィードバック
- 5.8 反応速度
- 5.9 処理中を表すインジケータ
- 5.10 アニメーション
- 5.11 待機画面
- 5.12 地図／マップの表示と操作
- 5.13 多言語対応する場合の注意点



$$\tan\theta = (y_{\text{eyes}} - y_{\text{ui}}) / x_{\text{pos}};$$
$$y_{\text{diff}} = \text{dis} * \tan\theta;$$

$h_{\text{ui}} / 2 > y_{\text{diff}}$ である必要がある

[前提]
身長 165cm の人が 40cm 離れたところから
地上高 100cm の位置のボタンの中心部を押している

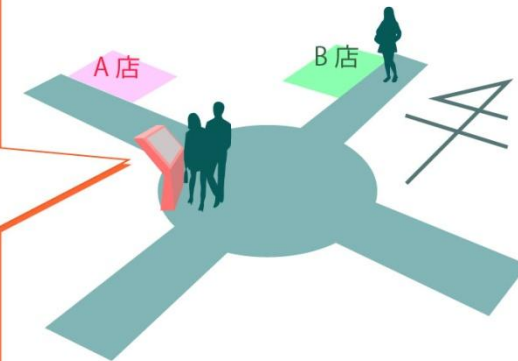
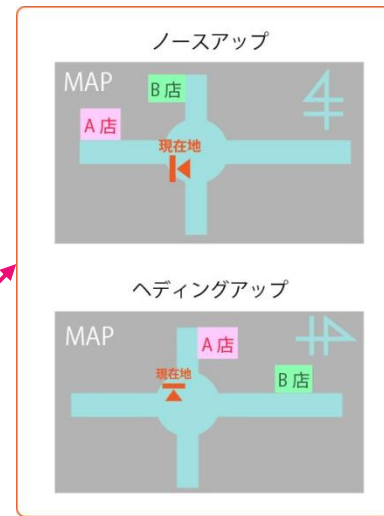
$$y_{\text{eyes}} = 150\text{cm};$$
$$y_{\text{ui}} = 100\text{cm};$$
$$x_{\text{pos}} = 40\text{cm};$$

タッチパネルと画面 4cm 離れていると仮定すると ($\text{dis}=4\text{cm}$)

$$y_{\text{diff}} = 5 * (150 - 100) / 40 = 6.25\text{cm};$$

中心を押しているつもりでも 6.25cm 上で反応することになる。

よって、ボタンとしては $6.25 * 2 = 12.5\text{cm}$ 以上の大きさが必要になる



スマートフォン連携

- 6.1 コンテンツダウンロード
- 6.2 インタラクティブ性
- 6.3 通信手段
- 6.4 アフォーダンス
- 6.5 対象機種

災害時対応

- 7.1 避難誘導可否
- 7.2 災害時表示への切り替え
- 7.3 SNSの活用
- 7.4 二次災害の防止
- 7.5 ウェブアプリ実装

事例

8.1 バリのバス停

図 16、図 17 は、パリ市内のバス停に設置されているアattendサインージである。設置場所からの乗換案内や道順などの情報を提供している。



図 16 バスのシェルターに設置されているアattendサインージ

実際に徒歩経路で観光名所までのルートを検索するとされ、合わせて道順がテキストでも表示される。この画面をスマートフォンで写真に撮るように促す表示は路にも分かりやすい方法であろう。



図 18 ルート検索結果

8.4 ニューヨーク市の新プロジェクト「LinkNYC」

米国のニューヨークでは、公衆電話を次世代の新システムに切り替えるプロジェクト「LinkNYC」が 2016 年 1 月からスタートした。



図 27 ニューヨーク市の LinkNYC

ニューヨークの 3rd アベニューから導入が始まり、トール間隔で 7500 台設置予定とされ、概工費は 2 億ドルが稼働中である。



8.3 ドバイのトラム

ドバイの RTA というトラムの全駅にアattendサインージが設置されている。改札口付近の目立つ場所にあり、駅によっては複数台設置されている。



図 22 改札付近に設置されているアattendサインージ

(ドバイでは公共の場所で女性を撮影することは法律で禁じられているが、本写真は本人の承諾を受けている。)



筐体は縦型であり、60 インチ程度のタッチパネルディスプレイを搭載する。業務切り替えは国旗のアイコンをタッチさせる形式である。この事例の特長は、コンテンツが縦書きであってもも利用者に分かりやすいよう工夫されている点である。縦書きは 3 階層で、一番下に丸いアイコンが並び、次が横長の横枠。最後が四角の縦であり、図 23 は全てを表示した状態である。経路検索をした後に、続けて別の操作をしようとする多くのサ

必要な章だけでもご覧ください！



企画・
要件決めを
する方々

どうやったら使ってもらえるの？



全部

ロケーション
オーナー・
機材選定者

どこに設置すればいいの？
何に気をつければいいの？



第3章 環境空間
第4章 筐体・HW

UIデザイナー
筐体設計者

使いやすい
アテンドサインージって？



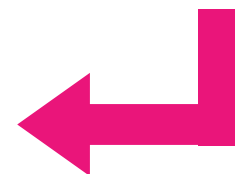
第4章 筐体・HW
第5章 UI

ダウンロード方法

アテンドサイネージ ガイドライン



DSCの
トップページから
ダウンロード
出来ます。



一般社団法人 デジタルサイネージコンソーシアム
DIGITAL SIGNAGE CONSORTIUM

日本語 | ENGLISH | 中国語

デジタルサイネージとは | コンソーシアム組織概要 | デジタルサイネージ事例 | デジタルサイネージ関連記事 | メディア掲載情報

DIGITAL SIGNAGE CONSORTIUM
DSC

デジタルサイネージのメディア化のために
必要な標準化を行う一般社団法人です。

デジタルサイネージとは
?

メンバーログイン
ID
PASS
ログイン
パスワードを忘れた方はこちら

コンソーシアム入会のお申し込みについて

現在の会員数
116社

DSC通信購読のお申し込み
(無料)

最新ニュースはこちら

メディア掲載

インフォメーション

(2017-01-10)
■ユーザーエクスペリエンス部より、**アテンドサイネージガイドライン(1.0版)**が発表されました。
アテンドサイネージ(案内表示などでインタラクティブ性をそなえたデジタルサイネージ)の導入を検討しているロケーションオーナーや企画者、設計ならびに開発をするエンジニア、デザイナーを対象に、ガイドラインを策定致しました。
どなたでもお読み頂けます。下記ロゴよりDL下さいませ。

ATTEND SIGNAGE GUIDELINES
アテンドサイネージガイドライン

2016年6月刊行